

若城新聞

行發日十月一十
本報社：福島県平野町
電話：二五八〇
（刊休日翌日祭曜日）
番五六五、八〇一、番銀東京

天気豫報

今晩は西の風晴
明日は北西の風晴
一時曇

長面子氏にお答へ申す

平華生

文字を知るは愛の始めと申す。文字を知らぬは愛の終り。文字を知るは愛の始めと申す。文字を知らぬは愛の終り。文字を知るは愛の始めと申す。文字を知らぬは愛の終り。文字を知るは愛の始めと申す。文字を知らぬは愛の終り。文字を知るは愛の始めと申す。文字を知らぬは愛の終り。

佛法僧鳥

島田忠夫

佛法僧鳥はひつかなあふかいお山の谷間から

立秋

珠雲 小野務平

雨後合樹樹々蒼立秋大火轉四方金風玉露涼於水早已離間曉候虫

講談

戀 鶴 組

（41） 林 彦兵衛作 金子 士郎書



「それよりも、旦那はあつての浪人を怖れてるぢや御座んせんか？ 返り討になるかも知れぬと思つて……」

歌人としての大國隆正

渡邊 玉風

大國隆正の歌は、その雄渾とした筆致と、自然な発句の運びで、読者の心を捉へて置く。その歌は、時代の精神を反映し、人々の心を癒す力を持つ。

實さくろ

松島山明子

「實さくろ」は、作者の生活経験に基づいた作品で、社会の現実を鋭く描き出している。読者は、この作品を通じて、社会の暗黒面を垣間見ることが出来る。

「彼が亦日本國民の誇りを高く持ち、大君のたかはね國に生れ来て、をさされる世に逢ふて嬉しき……」

「目下制した小六が左様御立腹では恐れ入りますが……」

吉田眼科醫院

平市紺屋町 電話六八番

北川外科

平市新川町(電四六四) イツテモ 入院デキマス 師 三浦 常保

外科一般 内臓外科

レントゲン科 泌尿器科

花柳病科

午後診 午後夜診 入院 午後夜診

福島縣立代用精神病院

郡山市外大槻村針生 電話九二五番

精神科

脳脊髄病科 神経病科

片寄製作店

片寄 小淵太 電話四八四番

和洋 家具 建築

其他裝飾品一般

關彰商店

本店 茨城縣下館町 電話五五三三九番

高久病院

平野町 (電話五三二番)

婦人科

平市新川町「電話三六九番」

西村屋藥舖

平市専賣店 電話三三九番

山野邊藥局

平市五丁目(電呼六六八)

華公生

本効力 効位力

お醬油

山崎合名會社 電話(本)店二七番

カメラ材料

藥品百貨 西村屋藥局

